

バローのDX戦略語る

大垣 小池社長代行が講演

バローホールディングスの小池孝幸社長代行が14日、大垣市加賀野のソフトピアジャパンで「企業経

営と融合するDX戦略」と題して講演、オンラインを含め約100人が聴講した。



DX戦略について語るバローホールディングスの小池孝幸社長代行。大垣市加賀野、ソフトピアジャパン。

小池氏は自社のデジタルトランスフォーメーション(DX)方針として作り手と売り場、本部と店舗、会社と顧客の三つのコミュニケーションを加速させるツールとして使っていると明かした。

具体例の一つとして、昨年10月からホームセンターで本部と店舗のやり取りをするためスマートフォンを導入したと説明。パソコンのメールに比べ「スマホは担当者にピンポイントで指示でき、画像を付ければ伝わりやすい。完了ボタンで実行率も分かる」と紹介した。

ほかにもキャッシュレス決済や電子商取引(EC)にまつわる自社の取り組みを具体的に解説し、出席者の関心を誘った。

ソフトピアジャパン主催。中小企業の経営者やDX担当者らが参加した。